

## 《「こんにちは訪問」を実施しました》

6月15日から24日にかけて、地域の皆さまに、発電所に関する情報をお知らせし、ご意見をいただく定例の対話活動「こんにちは訪問」を行いました。

平成6年の開始から27回目となる今回は、発電所所員延べ140人が、女川町と石巻市牡鹿半島部の約4100戸を訪問させていただきました。

対話活動の中で、皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の発電所運営の参考とさせていただきます。



## 《道路や砂浜の清掃活動を行いました》

5月20日、発電所周辺道路（コバルトライン小積インター近辺）の清掃活動を行いました。発電所所員、協力企業社員約110人が、ゴミ袋約80袋分の空き缶やペットボトルなどを回収しました。

6月1日と2日には、発電所所員約50人が、発電所近傍海岸および周辺地区を清掃しました。砂の上を歩くとキュッと鳴る「鳴り砂」で知られる夏浜と小屋取浜の清掃は、有志団体「おながわの鳴り砂を守る会」と合同で取り組みました。参加者は、流木や細かいゴミなどを丁寧に取り除きました。



道路の清掃活動



小屋取浜の清掃活動

## 《第5回「我歴 stock」が開催されました》

6月7日、女川小学校校庭において、「第5回<sup>がれき</sup>我歴stock in 女川～新時代編～」(主催：女川福幸丸)が開催されました。

音楽を通じて女川町の復興を盛り上げるこのイベントには、多くのアーティストが出演したほか、地元の創作太鼓グループや獅子舞も登場し、出演者と観客が一体となって盛り上がりました。

会場に設置した当社キャラクター「マカプゥ」の大型遊具も、子どもたちに大人気でした。



## 《ローズガーデンフェアを開催しました》

6月6日から28日まで、女川原子力PRセンターにおいてローズガーデンフェアを開催しました。センター内の「スイートガーデン」には、県内でも有数の約70種類ものバラが植えられており、今年も見事な花を咲かせました。

期間中は、バラを背景に撮影した写真のプレゼントやミニバラを使った寄せ植え教室を開催し、来館者からは「毎年この時期を楽しみにしている」「寄せ植え教室はとても楽しかった」などの声をいただきました。

「スイートガーデン」では、年間を通じていろいろな花を楽しめますので、ぜひPRセンターへ足をお運びください。



寄せ植え教室の様子



完成したミニバラの寄せ植え

# 女川原子力PRセンターからのお知らせ

## 「第14回 東北電力図画コンクール」募集スタート!

当発電所では、未来を担う子どもたちの「想像力」と「考える力」を育み、個性や才能を伸ばすお手伝いをしたいという思いから、毎年、小学生以下の皆さんを対象とした図画コンクールを開催しています。

昨年は4965点もの作品をお寄せいただきました。

今年も以下のお通り図画コンクールを開催いたしますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

### テーマ 想像の海の生きものたち 「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう!

**【募集期間】** 7月18日(土)～8月31日(月)

**【対象】** 小学生以下の皆さん

**【表彰】** 最優秀賞/1名、優秀賞/7名、各審査委員特別賞/9名、奨励賞/20名  
※ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈いたします。

**【用紙】** A4(210mm×297mm)の画用紙に描いてください。

**【注意事項】** 一人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。

- ・ 絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵などで描いてください。
- ・ 貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集等の作品は選考対象外になります。
- ・ 応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。
- ・ 応募作品の返却はいたしません。



女川原子力PRセンター内  
「東北電力図画コンクール」事務局  
〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123  
TEL/0225-53-3410  
開館時間/9:30～16:30  
(7月21日(火)、8月17日(月)は休館)

お問い合わせ  
応募先

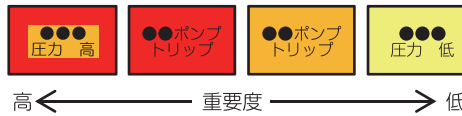
## 新規制基準適合性審査状況のお知らせ(6月末現在、審査会合53回開催)

### 《誤操作防止について》

2号機の適合性審査では、通常運転時に異常が見られた場合でも、運転員が誤った操作をすることなく、的確な運転操作をするための設計や対策について審議されています。

#### 警報窓の色分け

警報窓は、重要度に応じて色分けしています。



#### 監視計器類の識別

計器類のうち、重要度の高いものは赤枠で囲み、識別しやすくしています。

重要度: 高 低

#### 操作器の統一化

操作レバーやスイッチの用途に応じて、色や形状、操作方法などを統一しています。

用途	ポンプなど	弁など	電圧調整など	機器切替など
形状 (赤は重要系統)	ピストル型	つまみ型	たまご型	菊型

審査会合の詳細は当社ホームページをご覧ください。

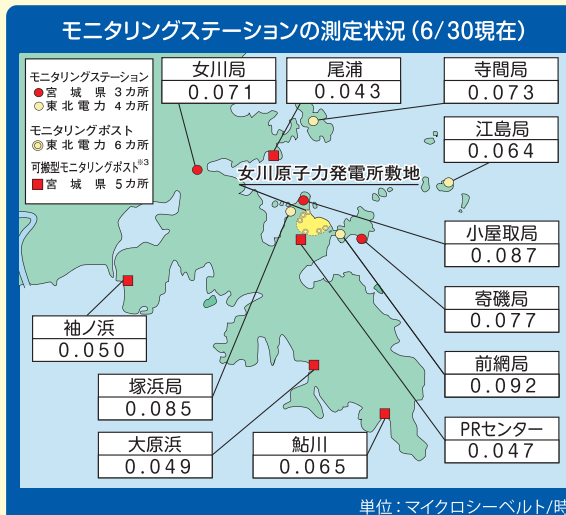
東北電力 女川審査会合

検索

### 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.060マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



#### (参考)モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	測定値
平成23年3月11日	0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	
平成23年3月13日	1.8～21※4
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	
平成24年4月1日	0.063～0.098
平成25年4月1日	0.055～0.076
平成26年4月1日	0.046～0.065
平成27年6月1日	0.044～0.063
平成27年6月30日	0.042～0.060

単位: マイクロシーベルト/時

- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。